



桑野ふるさと研究会

桑野地域で郷土史研究などに取り組む住民団体「桑野ふるさと研究会」が、桑野地域(阿瀬比町、山口町、桑野町、内原町)に残る貴重な資料をまとめた冊子「み一つけた ふる里の宝」を今春、発刊した。冊子には、地域の歴史や文化財などの写真や資料がたくさん掲載されており、ページをめくると懐かしい古里の原風景がよみがえってくる。

研究会は昭和58年に発足して以来、郷土の歴史、文化や自然などの調査研究を行う。郷土に強い思いと情熱を持った人たちが活動している。

月1回の例会で、会員相互に研究発表をしたり、町内外を訪ねたりして多くのことを学んできた。明治時代に北海道へ開拓に出た地(仁木町・北檜山町)への表敬訪問も2回実施し、今も交流が続いているという。このような研究の成果として、これまで「歴史写真集」「社寺石造写真集・ふるさとことば集」「文化財・お宝集」「わたしの町の昔のくらし」「平成ふるさとカルタ」を発刊し、地域に還元してきた。

また、学校支援活動に力を入れており、



現地研修(地元神社を研究)



旧桑野村役場古書を調査



成果をまとめた冊子を発刊



学校支援(カルタ大会)

山口・桑野両小学校児童に対してカルタを通じた地元愛の醸成に取り組んでいる。カルタには、地域の歴史や文化・伝統芸能などを盛り込む。子どもたちが楽しみながら、地元に関心を持ち、町づくりに貢献してくれることを願っている。

会長の鎌田 武さん(桑野町・90歳)は、「町には脈々と受け継がれてきた歴史と味わい深い文化があります。それらを伝え、未来の創造へと生かしていきたい」と力を込める。

地域のつながりが希薄化しているといわれる昨今。桑野ふるさと研究会の皆さんは、生まれ育った古里を見つめ直し、お互いの絆を強く感じることができ、地域づくりをめざしている。

ふるさと桑野「み一つけたふる里の宝」発刊



桑野ふるさと研究会と桑野公民館が、町内にある貴重な資料や写真を収集し、冊子を発行しました。1冊1,000円で販売しますので、お問い合わせください。

☎ 桑野公民館 (☎26-1644) へ